

実証実験実施報告書

平成28年3月18日

明治大学けいかくけん

I. はじめに

明治大学けいかくけんでは、大学生の力を活用した集落復興支援事業の実証実験として、「今出来ることをしよう！」と「飯舘村を知ろう！」というまとめの下で、以下の事業を実施した。

(1)今要望書の実現は帰村後→出来ることをしよう！

- ①松川第一仮設住宅の環境整備
- ②松川第一仮設住宅の夏祭り
- ③までいカフェ

(2)村のことをあまりにも知らない→飯舘村を知ろう！

- ④飯舘村ツアー

これらについて、順に説明する。

II. 松川第一仮設住宅の環境整備

仮設住宅そのものが経年劣化しているのと同様、建物周りにおいても、様々な齟齬が生じてきている。そこで、平成27年8月から11月にかけて、敷地内の草むしりを実施すると共に、一部通路をふさぐプランター等の整理を複数回にわたり実施した。

III. 松川第一仮設住宅の夏祭り

平成27年8月8日に開催された松川第一仮設住宅の夏祭りに、ボランティアスタッフ、参加者の両面で加わった。流しそうめんでは、そうめんをゆでるところから竹樋に流すところ（図1）まで、ボランティアスタッフとして仮設住民のみなさん共に過ごした。



図1 流しそうめん

続いて行われた盆踊りにおいては、司会を担当すると共に、一参加者として踊りの輪に加わり、楽しい一時を過ごした（図 2）。



図 2 盆踊り

IV. まいでいカフェ

2回目となる、明治大学学園祭への招待であるが、今年度は和泉キャンパスの『明大祭』（平成 27 年 11 月 2 日）への招待とした。学生達が普段どのような環境で生活しているかを仮設住宅の方々にお見せし、相互理解を深めることが出来た。

V. 飯舘村ツアー

今後の計画策定のためにはまず、飯舘村を知らなければならぬとして企画されたツアーである。平成 27 年 9 月 18 日に、仮設住民の方々の案内で、帰宅困難区域（長泥地区）入口をふさぐゲート（図 3）、除染現場と除染廃棄物（図 4）、村内での生活関連施設（セブンイレブン）の再開状況（図 5）、村役場での担当者からの説明と質疑（図 6）などを行った。

このツアーの成果を受け、現在、来年度の活動内容の検討を学生自身で行っている。

VI. 今後の展開

飯舘村の避難指示解除は平成 29 年 3 月が想定されているが、避難指示解除後の個々の避難者の動きについては、現時点では必ずしも顕在化していない。その中で、飯舘村の中で何をするかはなかなか決めきれないものがあった。

今後は、今年度の協働の成果を基盤として、学生自身が何をすべきかを考えてゆく中で、本事業とは別に関わりを維持してゆく予定である。



図 3 長泥地区入口の通行禁止のゲート



図 4 除染廃棄物の仮置き場



図 5 JA マート跡地を利用して開店したセブンイレブン



図 6 村役場での担当者による説明と質疑

以上